

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・国語表現	学年	第3学年	教科書	大修館書店「国語表現 改訂版」
		単位数	2単位	副教材	浜島書店 最新国語便覧

学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を養い、伝え合力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を養う。				
学習方法	○自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりする。 ○学習の中から課題を見付け、書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて読みやすくわかりやすい文章を書く。				
学習評価	評価の観点		重み付	科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	20%	国語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合おうとする。	
	b	話す・聞く能力	20%	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて効果的に話したり的確に聞き取ったりする。	
	c	書く能力	50%	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切かつ効果的に文章に書く。	
	d	知識・理解	10%	表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	表現力を培う	4	書いて伝える	自己の考えや思い、見た事などを書くことによる伝える。	○	○	○	○	a: 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりすることができる。 b: 自己の考えや思いを言葉にすることができる。 c: 的確な表現を用いることができる。 d: 語彙力を高めることができる。	・観察 ・発問評価 ・ノート提出 ・作品の提出 ・授業時の小テスト ・ワークシートの作成と提出 ・意見の集約や発表 ・各提出物
				過不足なく伝えることはスベを伝えることではないことを理解する。	○	○	○	○		
		6	小論文・レポート入門	論文の型式や論文のポイントを知る。	○	○	○	○	a: 論文の型式を理解できている。 b: 自己の考えや思いを言葉にすることができる。 c: 主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書くことができる。 d: 習得した語彙を文章で活用できる。	
				自己の主張が明確な理由をもって記述されていることを理解する。	○	○	○	○		
		6	自己PRと面接	自己の有り様を理解し、他者に伝えるためにはどのようなようにしたらよいかを理解する。	○	○	○	○	a: 自己の有り様に興味を持つことができる。 b: 話すことによって自己を表現することができる。 c: 面接の準備や模擬面接を体験することによって、自己PRを含めた応答ができる。 d: 自己の内面を表現できる語句を習得できている。	
				面接のhow toについて知る。	○	○	○	○		
4	メディアを駆使する	多種多様な伝達の仕方を理解する。	○	○	○	○	a: 話すことに対する意欲や関心を持つことができる。 b: 的確な伝達手段を活用して伝達することができる。 c: 伝達すべき内容を整理することができる。 d: 伝達の仕方が理解できる。			
		話題や題材などについて調べてまとめたことや考えたことを伝えるための資料を、図表や画像なども用いて編集すること。	○	○	○	○				
4	声とコミュニケーション	相手や目的に応じて、紹介、連絡、依頼などのための話をしたり文章を書いたりすること。	○	○	○	○	a: 話すことによる声の役割を理解できる。 b: 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりすることができる。 d: コミュニケーションとはなにかを理解できている。			
		話す目的について理解する。	○	○	○	○				
4	会話・論議・発表	様々な考え方ができる事柄について、幅広い情報を基に自分の考えをまとめ、発表したりに討論したりすること。	○	○	○	○	a: 自己の考えをまとめて話すことの大事さに興味を持つことができる。 b: 相手の立場や異なる考えを尊重して課題を解決するために、論拠の妥当性を判断しながら話し合うことができる。 c: 発表のための原稿が整理できている。 d: 話し言葉の量を豊かにする。			
		聞き手にわかりやすいよう、表現や話し方を工夫して自分の意見を述べる。	○	○	○	○				

後 期	表現を楽しむ	8	言葉で遊ぶ	「書き言葉」「話し言葉」はどのようなものであるかを理解し、自分の表現活動を振り返る。	○	○	○	○	○	○	a: 言葉について、理解しようとしている。 c: 書き言葉と話し言葉の差異について理解を深めることができる。回文・折り返し・しりとりなどの音の響きのおもしろさや意味の広がりや豊かさについて理解できている。 d: 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などについて理解を深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発問評価 ・ノート提出 ・作品の提出 ・授業時の小テスト ・ワークシートの作成と提出 ・意見の集約や発表 ・各提出物
		6	詩歌を楽しむ	詩歌をつくり、鑑賞したことをまとめたりすること。	○	○	○	○	○	○	a: 詩歌の様々な型式や詩歌の世界を理解しようとしている。 b: 朗読によって詩歌のリズムを味わうことができる。 c: 自己の創作世界を表現することができる。 d: 様々な表現についてその効果を吟味したり、書いた文章を互いに読み合って批評したりして、自分の表現や推敲に役立てるとともに、ものの方、感じ方、考え方を豊かにすることができる。	
		6	魅力的なポスターを作ろう	的確なまた印象的な表現によるアピールのあり方を考える。	○	○	○	○	○	○	a: 言葉とイメージについて興味を持つことができる。 c: 言語とシンボルの関連を認識することができる。 d: 印象的なポスターについて理解し、作成することができる。	
				言葉だけが伝達の手段ではないことを理解すると共に文字のもつ印象について理解する。	○	○	○	○	○	○		
				配置による印象やイメージの違いについて理解する。	○	○	○	○	○	○		
				単元のまとめ 言葉とイメージのあり方を理解する。	○	○	○	○	○	○		
		5	「我が町自慢」のパンフレット作り	紹介文・宣伝文の特徴と、基本的な書き方を理解する。	○	○	○	○	○	a: 紹介文や宣伝文について理解する。 b: 的確なアピールポイントを表現する。 c: 紹介文や宣伝文の効果的な活用ができる。 d: 紹介文の語彙を増やす。		
				紹介する目的・対象に合わせてアピール・ポイントを考える。	○	○	○	○	○			
				紹介文の書き方をふまえ、紹介文を書く。	○	○	○	○	○			
				単元のまとめ 紹介文や宣伝文を効果的に利用することについて理解する。	○	○	○	○	○			
		5	働く人にインタビュー	的確な質問とインタビューの流れを考える。	○	○	○	○	○	a: 書き手と話し手の違いを認識することができる。 b: 優れた書き手は優れた聞き手であることを理解することができる。 c: レポート形式のまとめができる。 d: 他者の思いや考え方を理解し、自己の言語活動を豊かにすることができる。		
				優れた聞き手になるためにはどのようなことに心がけるべきか、話し合う。	○	○	○	○	○			
				レポートにまとめ、発表をする。	○	○	○	○	○			
				単元のまとめ 優れた書き手は聞き上手であることに気づき、言語生活をふり返ってみる。	○	○	○	○	○			
		6	様々な表現に挑戦する	辞書や図鑑を作るための素材を集めて、話し合う。	○	○	○	○	○	a: 社会・人事・自然などについて興味関心を持つことができる。 b: 話し合いの手順を理解し、その手順を活用することができる。 c: 多様なものの見方や感じ方を理解し、表現できる。 d: 自己の価値観を高める。		
				短いエッセイや短いパロディに挑戦する。	○	○	○	○	○			
				ディベート・模擬裁判・劇に挑戦する。	○	○	○	○	○			
				単元のまとめ 身の回りの出来事や現象について関心を持ち、発表することで、言葉に表現することの楽しさを知る。	○	○	○	○	○			
合計時数 (55分授業)		64										